

平成 24 年度長野県ふるさとの森林づくり賞 受賞者の皆さまの功績

【ふるさとの森林づくり大賞】

受賞者名	上伊那猟友会	住所	伊那市
<功績事項> <p>早くから広域捕獲に取り組み、管内市町村の有害鳥獣捕獲に従事する環境整備に取り組まれてきました。</p> <p>また、捕獲方法の研究を続け、効率的なニホンジカの捕獲方法を考案し、地域で実践するとともに、県下他地域からの研修にも対応し、普及を図っています。</p> <p>さらに、会員の高齢化・減少が進む中、郡内で捕獲を行える組織（捕獲隊）を結成したほか、若手会員の情報交換の場を作るなど、若手会員の育成に向けた先進的な取組をしています。</p> <p>県では、ニホンジカの第3期特定鳥獣保護管理計画に基づき、初年度の平成23年度から、ニホンジカの捕獲を強化しているところですが、当会では、ニホンジカ捕獲に積極的に取り組み、捕獲目標を大きく上回る実績をあげています。</p> <p>一方、地域の安全・安心な暮らしを支える猟友会として、地域社会から認められる団体を目指して、行方不明者の捜索への協力、山野のゴミ拾い等にも取り組まれ、多方面で地域に貢献されています。</p> <p>以上のように、県下の猟友会の模範となる活動を続けられています。</p>			

【森林づくり推進の部】

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	浦沢 英一	住所	木曽郡木曽町
<功績事項> <p>長年にわたり、森林組合長として地域林業発展のために貢献し、行政と住民を結ぶ活動を行い、地域の活性化にも寄与されてきました。特に平成14年の木曽森林組合合併後は初代組合長を務め、合併組合の経営を軌道に乗せるとともに木曽地域のリーダーとして森林整備の推進を図られてきました。</p> <p>また、木曽広域連合と愛知中部水道企業団との間で締結された、木曽川「水源の森」森林整備協定推進事業に基づく間伐事業を積極的に推進し、森林の持つ国土保全、水資源の涵養・景観の保持等の機能発揮向上に努められてきました。</p> <p>さらに、平成20年度からはじまった、長野県森林づくり県民税木曽地域会議の座長として5年間務められ、住民の意見や会議の取りまとめを行うなど、木曽地域の抱える森林づくりの課題への対応にご尽力いただきました。</p>			

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	お〜い原木会	住所	埴科郡坂城町
<功績事項>			
<p>里山の整備と魅力ある地域ブランドの創出を目指し平成 17 年に設立され、廃トンネルをキノコ培養施設としての有効活用を図りつつ、試験研究を行いながら原木栽培キノコとしてのブランド化を図り、生産・販売活動を行っています。</p> <p>また里山の整備と資源の有効活用に向け、種菌する原木の一部は地域の広葉樹林から生産するなど、地域の森林整備・獣害防除にも貢献されています。</p> <p>さらに、一般町民向けにしいたけの駒打ち体験等を行い、キノコ栽培や里山整備に関心を持ってもらうよう普及啓発活動にも寄与されています。</p> <p>これらの活動は地域の方々が主体的に行っていることから、地域興しの模範的な活動としても認められます。</p>			

賞 名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	飯島町植栽ボランティア	住所	上伊那郡飯島町
<功績事項>			
<p>平成 10 年に地域住民の有志により組織され、毎年町内各地にサクラ・モミジ等を植栽しているほか、植栽地の下刈り・つる切などの管理を定期的実施されています。</p> <p>これまでに 1,000 本以上の苗木をボランティア活動によって植樹・育樹活動をしており、町内の森林づくり・景観づくりに寄与しています。</p>			

賞 名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	望月 明義	住所	安曇野市
<功績事項>			
<p>怪我等を負って保護された多くの傷病鳥を治療、介護して自然復帰させています。</p> <p>特に、ハクチョウなどの野鳥の鉛中毒治療を国内で初めて手掛け、外科治療により衰弱したハクチョウを回復させることに成功され、以後多くの野鳥の命を救ってきました。</p> <p>また、県が実施している傷病鳥獣救護事業において保護した野鳥の突発的な救護依頼に対しても快く受け入れ、多くの傷病鳥の治療、介護を引き受けられています。</p>			

賞 名	長野県林業改良普及協会長賞		
受賞者名	日義鳥獣対策委員会	住所	木曽郡木曽町
<功績事項>			
<p>木曽管内で野生鳥獣被害対策に取り組む団体の中で、構成員の規模や対策対象地域が一番大きく、集落ぐるみで被害対策に先進的に取り組まれている委員会です。参加者は日義地域自治協議会、猟友会、農業委員会、観光関係者、教育関係者などで組織し、構成員は約 250 名と地域の約 27%の方が参加しています。</p> <p>有識者を招いての勉強会や、県内の先進地域の視察研修などを通じて、被害の防除対策についての知識を高めるほか、地域の要望や実情を考慮し、毎年約 100 名が参加して緩衝帯整備を実施するなど、集落ぐるみの被害対策に取り組まれています。</p>			

賞 名	長野県林業改良普及協会長賞		
受賞者名	池田町 坂下自治会	住所	北安曇郡池田町
<功績事項>			
<p>度重なる災害を経験してきた当自治会では、平成 15 年に「坂下地区防災会」を発足させ、防災訓練を行うなど避難体制を整備されてきました。そして、近年増加しているゲリラ豪雨による土砂災害等を憂慮し、県担当者らの説明による現地視察を通じて現状を把握するほか、独自に沢の倒木除去や除伐等の活動に取り組まれています。</p> <p>平成 23 年度に災害が発生した後も、現地視察、倒木除去、溪流内の下草刈り等を実施し、地区全体で防災意識を高める取組みが継続して行われています。</p>			

賞 名	長野県林業経営者協会長賞		
受賞者名	樋口 清	住所	木曽郡木曽町
<功績事項>			
<p>指導林業士として、地元地区において森林整備を住民自らの手で進めていく活動に積極的に取り組まれており、旧木曽福島町内の生産森林組合を指導し、ヒノキを中心とした拡大造林、育林整備を進められてきました。現在は林業会社を立ち上げ、森林経営計画作成等に携わり、地域の森林づくりに貢献されています。</p> <p>さらに、森林を通じた都会の子供達への学習の場の提供や山菜、キノコ、ジビエ料理などを含めた幅広い山の魅力を都会の人々に PR するなど、地域の活性化にも多大な貢献されています。</p>			

賞 名	長野県山林種苗協同組合理事長賞		
受賞者名	笹岡 紀美雄	住所	下高井郡野沢温泉村
<功績事項>			
<p>長年にわたり地域の健全な森林づくりに欠かせない優良なスギ苗木の生産に従事されてきました。</p> <p>山林苗木の生産が減少していく中で、スギ苗木の主要生産地を担う中核的な生産者で地域のリーダー的役割を担い、現在はスギ苗を年間 20,000 本生産されています。</p> <p>また、産地系統を明らかにした指定地域産スギは耐寒性のスギとして全国的にも高い評価を得ています。さらに、優良苗木の安定した供給を図るため、協業体組織による掘り取り機や植付機の共同購入に積極的に取り組むなど、山林苗木生産の省力化とコストダウンを図り、経営の安定に努力を重ねられています。</p>			

賞 名	長野県特用林産振興会長賞		
受賞者名	田下 清作	住所	木曾郡木曾町
<功績事項>			
<p>シオデは「山のアスパラガス」と呼ばれ春の山菜として珍重されていますが、採草地の減少により収穫量が減少していました。田下氏はこのシオデの人工栽培に長年にわたり取り組まれ、実播による栽培方法を確立されました。</p> <p>この成果は平成 4 年に著書にまとめられ、国会図書館にも収蔵されており、多くの研究者などから注目を集めています。また、県内外の生産者への指導を行い、現在では木曾管内の道の駅等で安定的に販売されるなど、着実に実績をあげられています。</p>			

賞 名	長野県特用林産振興会長賞		
受賞者名	深山遊園北野の郷	住所	北安曇郡小谷村
<功績事項>			
<p>里山保全や林地活用の目的のもと地域住民により設立され、山ぶどう園、さるなし園、きのこ園の造成、栽培、販売、タケノコ採取や森林整備などの体験イベントの開催など、地域活性化に貢献されています。</p> <p>またこの活動が、小谷村で進められている特産物による地域振興の取組を促すきっかけとなっています。</p> <p>さらに、深山遊園を含む南小谷県有林一帯の自然環境維持に向けた地域活動の取り組みは、県が進めている「地域で支える県有林」の趣旨にも合致し、当県有林の維持管理を行っていく上で大きな役割を担っています。</p>			

賞 名	長野県猟友会長賞		
受賞者名	新津 虎芳	住所	南佐久郡北相木村
<功績事項>			
<p>長年にわたり、当該地域の有害鳥獣捕獲に従事し、環境整備に取り組まれてきました。</p> <p>また、わなによる捕獲方法の研究を続け、効率的なニホンジカの捕獲方法を考案し、地域で実践するとともに、会員に捕獲技術の普及を図ってきました。</p> <p>さらに、地域のニホンジカ捕獲に積極的に取り組み、ニホンジカの第3期特定鳥獣保護管理計画における、捕獲目標を大きく上回る実績をあげ、他の模範となっています。</p> <p>地域の安全・安心な暮らしを支える地区の猟友会長として、各町村からの緊急捕獲の要請に迅速に対応するなど、地域社会から認められる団体を目指し、取り組まれています。</p>			

賞 名	長野県猟友会長賞		
受賞者名	金田 司	住所	下伊那郡天龍村
<功績事項>			
<p>長年にわたり、狩猟や有害鳥獣捕獲に取組み、地域の農林業を支えています。また、県や地区の狩猟関係機関において中核的な役割を果たし、狩猟行政の円滑な運営に寄与してきたとともに、県や地区の猟友会において長年にわたり指導員を努め、若手狩猟者の育成にも尽力されています。</p> <p>近年は、特にニホンジカによる農林業被害が深刻化する中で、氏の所属する天龍村の猟友会はニホンジカの捕獲に積極的に取組んでおり、年々捕獲量が増加するなど、着実な成果をあげています。</p>			

賞 名	長野県猟友会長賞		
受賞者名	美麻ジビエ振興会	住所	大町市
<功績事項>			
<p>野生鳥獣による農作物や樹木への被害が深刻な問題となっている中、地区の猟友会員が主体となり立ちあげられ、中信地域において初めての狩猟肉（ジビエ）の食肉処理施設「美麻ジビエ工房」を設置されました。今後の野生鳥獣被害への対応策として大きく期待されています。</p> <p>さらに、ジビエ料理の普及のため、会員の経営するレストランでジビエ料理を提供する取組みを行っており、安定的な販路確保にも積極的に取り組まれています。</p>			

【森林環境教育推進の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	株式会社八十二銀行	住所	長野市
<功績事項>			
<p>環境保全活動をCSRの根幹と位置付け、積極的な取り組みを展開されています。</p> <p>この環境保全活動の一環として、県内5箇所において「森林（もり）の里親契約」を締結し「『八十二の森』活動」として、間伐・除伐・下刈りなどの森林整備活動を行ない、役職員やその家族が積極的に参加するとともに、これらの活動を県内外に広く周知することにより、森林づくりの重要性の啓発にも貢献されています。</p> <p>さらに、子供等に対する森林環境教育も重要な課題と捉え、長野市戸隠にある森林植物園森林学習館のネーミングライツ・パートナーとして、同施設が森林環境教育の拠点施設として活用されるよう、全行をあげたPR活動に取りくまれています。</p>			

賞名	長野県教育委員会賞		
受賞者名	一般財団法人深志尚学会・長野県松本深志高等学校	住所	松本市
<功績事項>			
<p>松本深志高等学校同窓会の財産管理団体である一般財団法人深志尚学会は、昭和49年に松本市本郷にある本郷県有林のうち、20.26haを県との間で部分林契約（平成36年までの50年間）を締結しています。この部分林を「深志の森」として、松本深志高等学校では、1年生を対象に、森林環境学習、学生間の交流を目的に、昭和51年から現在までの37年間にわたり森林整備作業を続けられています。この作業時には深志尚学会の会員が指導にあたっています。</p> <p>概ね全員が参加するため、在校生全員がこの森林整備作業を体験しており、多くの生徒に森林の重要性及び森林整備の必要性が理解されています。</p>			

賞名	長野県森林組合連合会長賞		
受賞者名	NPO法人 根っこの会	住所	東御市
<功績事項>			
<p>自然体験活動による、子どもの健全育成等に取り組まれています。具体的には冒険遊び場・秘密基地づくり、木工作、キャンプ、オオムラサキを増やす環境づくり、冬季炭焼き体験活動等活動を精力的に展開されています。子どもたちにこれらの実体験を通じて自然環境に対する関心を育てています。</p> <p>本会の参加者は、東御市内はもとより、市外でも口コミで活動が知られ、最近では、小学生のみならず中学生や親も参加しており、年々参加者が増加しています。</p>			

賞名	長野県森林組合連合会長賞		
受賞者名	阿智村立阿智第二小学校	住所	下伊那郡阿智村
<功績事項>			
<p>長年森林教室授業を実践してきており、平成 22 年度にはみどりの少年団を設立し、児童の関心事項等に対応した実践的な森林学習教育を実践されています。</p> <p>シイタケ・ナメコ植菌活動は、PTAと児童が協力して実施し、収穫までを体験しています。間伐体験は阿智村で活動を展開しているNPO法人なみあい育遊会と連携して行い、伐採から間伐材利用までを体験しています。さらに校内において樹木学習も実施しています。このように、年間授業計画にとらわれることなく、授業に支障がない範囲で様々な活動を実施されています。</p>			

【信州の木利用推進の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	株式会社ディーエルディー	住所	伊那市
<功績事項> 薪ストーブの輸入販売・施工を主に手掛ける一方、地域で発生したアカマツとカラマツの間伐材を中心に薪の生産・販売を行っており、これまで利用されることが少なかった針葉樹人工林の曲がり材も活用できることから、資源の有効利用につながっています。 また、平成19年から各家庭への「薪の宅配システム」を開始したところ、各家庭で広大な薪置き場を確保する必要がなくなったことや、安定的に薪が確保できることなど、薪ストーブユーザーから好評を得ており、県内だけでなく県外にも取り組みが広がっています。 薪用原木の入荷については、上伊那地域の林業事業者や各地区の山林作業で発生した間伐材を一定価格で買い取ることで生産者との信頼関係も厚くなり、地域への還元や森林の循環利用に貢献されています。			

賞名	長野県木材協同組合連合会理事長賞		
受賞者名	宮川 秀夫	住所	安曇野市
<功績事項> 宮川氏が創設した有限会社中信においては、カラマツ等県産材を活用した家具を扱っており、県産材の利用推進を通じて地域の森林整備に貢献されています。カラマツは脂やねじれ等で非常に扱いにくい樹種とされてきましたが、宮川氏の確かな技術により、学童机・椅子のほか、JR駅舎のベンチなど、利用が広がっています。 また、学童机・椅子を中心に県外にも販路を確立し県産材の利用推進に繋がっています。さらに学校等で破損した家具についても、修繕等を定期的に行われています。			

【長野県森林づくり県民税活用の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	中村 孝・中村 くすみ	住所	茅野市
<功績事項>			
<p>県の木材青壮年団体連合会（木青連）が「木育推進事業」で実施している長野県児童・生徒木工工作コンクールにおいて、諏訪地区のとりまとめを一手に行われています。</p> <p>本来この木工工作コンクールは、木青連の各地域の支部がとりまとめを行い全県で審査する仕組みとなっていますが、諏訪地区の支部は、長引く木材価格の低迷等により休会となっていました。このような状況を受け、諏訪地域でのコンクールを継続したいという思いから、両氏で地域の小中学校を回り、作品の募集から取りまとめまでを担っています。</p> <p>諏訪地域は約 900 件の応募があり、毎年入選作品が出るなど県内で一番活動が盛んな地域となっており、両氏の積極的な活動と継続的な支援が大きいといえます。また、地域の木育活動の推進により、「あたりまえに木のある暮らし」を進める取組に貢献されています。</p>			

賞名	長野県森林組合連合会長賞		
受賞者名	下奈良本共有林	住所	小県郡青木村
<功績事項>			
<p>「みんなで支える里山整備事業」を活用し、森林整備に取り組みました。</p> <p>不在村者の増加や森林所有者の高齢化等により、森林に関する情報が不明確になり、森林資源の管理が困難になりつつある現在、地域住民が一体となって地域合意の形成や森林の集約化・団地化を率先して取り組まれています。</p> <p>加えて、近隣の森林所有者や地域住民と協働して、野生鳥獣被害防止のための「緩衝帯整備」や「ニホンジカ対策防除柵の設置」等を地域ぐるみで実施されています。</p>			

賞名	長野県森林組合連合会長賞		
受賞者名	山口むらおこし委員会	住所	飯山市
<功績事項>			
<p>近年、カシノナガキクイムシやマツクイムシによる深刻な森林被害が発生する中、集落振興のため地区内で十年來にわたり独自に活動を進めてきた当会は、平成 23 年度から制度化された「飯山市協働のもりづくり交付金」（長野県森林づくり県民税活用）を活用し、一年を通じて観光客が訪れている山口城址周辺の集落林の整備を行ない、下刈りや枯損木の伐倒整理を行うとともに、地元育成会と協働で桜を植樹するなど環境整備を行われました。</p> <p>また、間伐材にきのこのコマ打ちを行い、地域全体で特産林産物を生産するなど、里山環境の整備を住民自らの手により行われています。</p>			